



平成 28年 12月 14日
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

記者発表資料

「ICTを活用した横浜港コンテナ輸送効率化検討会」を設置します

関東地方整備局は、コンテナ船の更なる大型化の進展によるコンテナターミナル周辺の渋滞悪化が懸念される中、情報通信技術を活用し港湾におけるコンテナ輸送の効率化を実現することを目的として、横浜港南本牧ふ頭をケーススタディに各関係者、関係行政機関等においてコンテナ輸送効率化の方策を検討する場として、「ICTを活用した横浜港コンテナ輸送効率化検討会」を設置し、以下のとおり第1回会合を開催します。

【具体的な日時、場所等は別紙の通り】

議 事：・検討会設置の趣旨説明

- ・横浜港コンテナターミナルにおける課題と過年度の取組の概要説明
- ・ICTを活用したコンテナ輸送効率化方策の概要説明
- ・今後の対応方針に関する意見交換

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

室長 今野 頼夫 (こんの よりお)

課長補佐 山谷 将 (やまや すすむ)

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

1. 合同委員会の開催日時・場所

日 時：平成28年12月15日（木）13:30～14:30

場 所：横浜第二合同庁舎 14階 141会議室

〒231-8436 横浜市中区北仲通5-57



※庁舎には、セキュリティチェックがあります。警備員にお声がけください

2. 取材等

- ・ 検討会冒頭の傍聴および撮影は、委員長挨拶までとさせていただきます。
- ・ 検討会の内容については、当日の検討会終了後（15:00 予定）に、同会議室において報告させていただきます。

※当日、取材をご希望の方は以下の時間までに 受付をお済ませください。

- ・ 検討会冒頭の傍聴及び撮影をご希望の方は、13:00～13:15まで。
 - ・ 検討会報告のみの取材をご希望の方は、14:50～15:05まで。
- （こちらの検討会報告でのカメラ撮り等をご遠慮下さい。）

第1回 ICTを活用した横浜港コンテナ輸送効率化検討会

(委員)

神奈川港運協会 横浜港運協会 常務理事 水上 裕之

三菱倉庫株式会社 横浜支店 副支店長 西 亨

神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会 部会長 藤木 幸二

京浜海運貨物取扱同業会 業務委員会 副委員長 佐藤 康

横浜市港湾局 港湾物流部 部長 鈴木 健一

横浜川崎国際港湾株式会社 企画部長 正岡 孝

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長 加藤 雅啓

(関係者)

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 ソリューション事業推進部 次長 根木 貴史

国土交通省 港湾局 港湾経済課 港湾情報企画調整官 松田 茂

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 危機管理室 室長 佐瀬 浩市

国土交通省 関東地方整備局 副局長 高田 昌行

ICTを活用したコンテナ輸送効率化方策

下記3つの項目に対して、コンテナ搬出入情報とコンテナ車両位置情報を関係事業者間で共有・活用することによる実現方策を検討。また、セキュリティの適切かつ効率的な確保の観点から、出入管理情報システム(PSカード)との連携を行うことを検討。

- ① **ゲート処理の効率化** (貨物情報等の事前共有による作業迅速化、ゲート処理のICT化)
- ② **ヤード内荷役作業の効率化** (事前登録情報及び内陸コンテナ車両位置情報の活用による荷繰り時間の削減)
- ③ **内陸コンテナ車両位置情報の可視化** (荷主のSCM高度化、陸運の運行計画への活用)

輸入:(実入り貨物の搬出)

